

オープンソース プロジェクト始動のチェックリスト

検討事項

- 既存のオープンソース プロジェクトに参加することの可否を評価
- 企業にオープンソース開発モデルに従ってプロジェクトを立ち上げ、維持していく力量があるかを評価
- 立ち上げ当初から他企業がプロジェクトに参加することの確度を評価
- オープンソース プロジェクトの成功要因を評価、また、成功の評価基準を設定

ビジネス戦略、および、計画作り

- プロジェクトのゴールを決定し、設定
- プロジェクト実施の理由を利害関係者から収集
- プロジェクトに提供するコードを選定
- プロジェクトにアプリのコード全体を提供するのか、部分なのかを決定
- 選定されたプロポーザルに対してビジネス ケースを作成
- プロジェクトに対して経営幹部の支持があるかを見極める
- 開発者、および、資金の面で資源提供のコミットメントを計画
- 費用を予算化（開発者の工数、インフラ、その他の関連費用）
- プロジェクトの議論および決定のために経営幹部や必要な技術スタッフを招集
- プロジェクトの範囲とコード選択について議論し、最終決定

法務的レビュー

- オープンソース化が企業の知財に与える影響を検討
- オープンソース ライセンスへの完全な準拠性を確認
- 公開するソースコードのオープンソース ライセンスを選定、当該プロジェクトにおけるすべてのライセンス要件を明確に文書化
- CLAs (Contributor License Agreement) の必要性があるか決定
- コミュニティから、ドキュメントやスペシフィケーションのような非ソフトウェア生産物が出て来るかを考慮し、それらに対するライセンスを検討
- 商標に関わる考慮事項を決定
- プロジェクトに関連したエコシステム形成のために適合性テストのような要素を加えるかを決定

技術的レビュー

- 公開しないコンポーネントに対する依存性を除去
- ドキュメントと使用例を提供
- 社内開発者を想定したコメントや他の社内コードへの参照を排除
- コーディング スタイルの一貫性を確認
- ソースコード ファイル中の著作権告知を更新
- ソースコード ファイルにライセンス告知を付加
- ルート ディレクトリ下にひとつのファイルとしてライセンス文全体を追加

ガバナンスとプロセス

- プロジェクトのガバナンスに対するステップと構造を定義
- コード リポジトリ、バグ報告、および、テストのためのインフラを開発
- プロジェクト支援のための Slack チャンネル、フォーラム、Wiki を用意
- 貢献者とのオープンなコミュニケーション手法を用意

ブランディングとマーケティング

- 貢献者コミュニティを活性化するためのマーケティング戦略を設定
- プロジェクト ロゴ、色使い、Web サイト、マーケティング コラテラル、その他をデザイン
- ブランディングのガイドラインを定める
- プロジェクト用のソーシャル メディア アカウントを登録（Twitter、Facebook、LinkedIn など）
- プロジェクト用のドメイン名を登録

始動と保守

- プロジェクトの開設、開発活動と貢献プロセスの開始
- コミュニティ マネージャー、あるいは、コミュニティ アドボケートを指名
- 方向性やガバナンスに関わる変更は明確に伝達されるよう確認
- 他の類似コミュニティのベストプラクティスを踏襲
- コミュニティ構築のために直接対面を奨励、ミーティングの機会を提供